

【公報種別】特許法第 17 条の 2 の規定による補正の掲載

【部門区分】第 6 部門第 2 区分

【発行日】令和 2 年 6 月 11 日 (2020.6.11)

【公開番号】特開 2018-205472 (P2018-205472A)

【公開日】平成 30 年 12 月 27 日 (2018.12.27)

【年通号数】公開・登録公報 2018-050

【出願番号】特願 2017-109676 (P2017-109676)

【国際特許分類】

G 0 3 B 21/14 (2006.01)

G 0 3 B 21/00 (2006.01)

H 0 4 N 5/74 (2006.01)

【F I】

G 0 3 B 21/14 Z

G 0 3 B 21/00 E

H 0 4 N 5/74 A

【手続補正書】

【提出日】令和 2 年 4 月 23 日 (2020.4.23)

【手続補正 1】

【補正対象書類名】特許請求の範囲

【補正対象項目名】全文

【補正方法】変更

【補正の内容】

【特許請求の範囲】

【請求項 1】

レンズ装置が着脱可能な投写型表示装置であって、
光変調素子により変調された光束を合成する合成部と、
前記合成部の出射面側に設けられ、前記合成部から出射した光束が通過する開口を有する保持部と、
前記合成部を収納し、前記保持部が取り付けられる筐体と、を有し、
前記保持部には、光学素子を取り付けることが可能な取付部が設けられていることを特徴とする投写型表示装置。

【請求項 2】

前記保持部は、前記筐体に対して着脱可能に取り付けられていることを特徴とする請求項 1 に記載の投写型表示装置。

【請求項 3】

前記投写型表示装置から前記レンズ装置を取り外した状態で、前記保持部は前記筐体に対して着脱可能であることを特徴とする請求項 2 に記載の投写型表示装置。

【請求項 4】

前記保持部は、前記光学素子として光学フィルタを保持可能であることを特徴とする請求項 1 乃至 3 のいずれか 1 項に記載の投写型表示装置。

【請求項 5】

前記保持部は、前記取付部として、前記保持部の第 1 の面に設けられた第 1 の取付部と、前記保持部の前記第 1 の面とは反対側の第 2 の面に設けられた第 2 の取付部と、を有し、
前記第 1 の取付部には前記光学素子として第 1 の光学素子を取り付け可能であり、
前記第 2 の取付部には前記光学素子として第 2 の光学素子を取り付け可能であることを特徴とする請求項 1 乃至 4 のいずれか 1 項に記載の投写型表示装置。

【請求項 6】

前記保持部の前記開口は、前記合成部の出射面の外形よりも小さいことを特徴とする請求項 1 乃至 5 のいずれか 1 項に記載の投写型表示装置。

【請求項 7】

前記保持部は、前記開口を介して有効光束を通過させ、他の光束を遮光することを特徴とする請求項 1 乃至 6 のいずれか 1 項に記載の投写型表示装置。

【請求項 8】

前記保持部および前記筐体には、前記光学素子を冷却するための風路が形成されていることを特徴とする請求項 1 乃至 7 のいずれか 1 項に記載の投写型表示装置。

【請求項 9】

投写型表示装置に対して着脱可能なレンズ装置であって、
筐体と、
前記筐体に取り付けられ、前記投写型表示装置から出射した光束が通過する開口を有する保持部と、
前記開口を通過した前記光束を投写する投写光学系と、を有し、
前記保持部には、光学素子を取り付けることが可能な取付部が設けられていることを特徴とするレンズ装置。

【請求項 10】

前記保持部は、投写光学系の入射面側に設けられていることを特徴とする請求項 9 に記載のレンズ装置。